

令和四年度入学式式辞

数日前に満開になった校庭の桜も、一緒になってきょうの佳き日を祝福してくれているようです。本日、ここに、令和四年度の入学式を挙行できますことは、本校の教職員並びに在校生にとって大きな喜びでございます。

ご多用中にも関わりませず、ご臨席賜りました純美禮学園関係者、本校関係者の皆様、並びに保護者の皆様、心より厚く御礼を申し上げます。

ただ今、本校への入学を許可いたしました、二三三名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。まさに、陽春の名にふさわしい、この晴れの日には高校生活が始められることに、大きな期待を覚えます。

さて、今皆さんが生活している社会は、どのような言葉で表現されるものでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大が続く中での自粛や我慢、様々な生き方が模索されうる中での多様性の尊重、海外に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻にかかわる命の尊厳や家族愛など、様々です。大切なことは、そのどれもが現実であることを理解し、自分に何ができるかを真剣になって考え、実践していくことだと思います。勉強というのは、そのためにあるのです。広く社会を見渡し、高校生活を通して、自分にどのような力を付けていくことが必要かを考えましょう。

きょう、この舞台に立つまでに実に多くの努力をかさねてこられたことでしょう。そして同時に、いくつかの幸運がなければ、やはり「きょう」という日は迎えられなかったとも思います。あなたが注いだ力は大きかったけれども、自分一人の力だけで「今」があるのではないこと、それらすべてを丸抱えにして、自分にとってプラスになる考え方をもって、前に進みましょう。

本校の建学の精神「心技一如」は、相手のこと、周りのことを思いやりながら物事に誠実に向かおうとする品性である「心」をもって、習得したい様々な能力、つまり「技」を身につけるという意味です。心と技とは絶えず目標に向かう両輪であることを肝に銘じて下さい。そして、困難なことがあっても、「あきらめない心」をもって、自分の最善を尽くしてやりきりましょう。そういう取り組みができたとき、きっとあなただけの風景がみつけれられるはずです。

ここで保護者の皆様に一言ご挨拶申し上げます。本日はお子様のご入学、おめでとうでございます。三年間の高校生活が人生の貴重な財産となるよう、教職員一同、誠心誠意いっしょになって取り組んでいきたいと思っております。そのためにも、ご家庭との連携は不可欠です。ご無理を申し上げることもあるかもしれませんが、ご協力をお願いします。

いよいよ新生活が始まります。今年は新しいコース制が動き出す1年でもあります。あなたの目指そうとするゴールは逃げてはいきません。ただ、勝手に近づいてもくれません。自分の力で一步一步確実に歩みを進めることで、ゴールに近づいてください。その過程にある努力こそ最も尊く、あなたを輝かせるものです。最後に、もう一度繰り返します。どうか命を大切に、隣にいる人に優しさを持ちながら、**困難なことがあっても、「あきらめない心」をもって、自分の最善を尽くしてやりきりましょう。**この言葉をもって、式辞といたします。

令和四年四月七日

学校法人純美禮学園

滋賀短期大学附属高等学校 校長 小林昌彦

